

湯河原ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリー： 変化をもたらす

第 2708回 例会
平成30年2月16日 (金)
天候 晴れ
合唱 我らの生業

会長 石倉 幸久

幹事 渡辺 久恭

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

ファミリーマートとカルビー、どちらも日本を代表する企業ですが、共通点として、トップの「現場重視」の姿勢が挙げられます。

ファミリーマートの澤田貴司社長は、伊藤忠商事時代に関わったセブンイレブンの案件で、大企業のトップ自身が足繁く店舗に通う姿を見て感銘を受けたそうです。

また、ファーストリテイリングの副社長時代には、柳井社長から、店舗の状況をつぶさに把握することの重要性を学ばれたそうです。

澤田氏は、ファミリーマートの社長に就任されてから、なんと3週間もレジに立って接客をされましたが、これは、ご自身のキャリアの中で現場の大切さを先輩から学んだゆえの取り組みであったそうです。

一方、カルビーの松本晃会長は、毎週日曜には欠かさず、自宅近所の6軒のコンビニと4軒のスーパーを巡って新商品をチェックされ、気になった商品は自腹で購入して自宅で試食されるそうです。

美味しいのは当たり前、大事なのは身銭を切ってまで食べたいと思うか、というお考えに基づいて、トップ自らが地道に現場情報を収集されているわけです。

業種は違えど、お二方に共通する徹底した「現場重視」の姿勢からは、我々も学ぶところが多いのではないのでしょうか。

幹事報告

箱根ロータリークラブより

1. 箱根ロータリークラブ特別後援「チャリティーホームコンサー in 箱根」開催のお知らせ

日時：2月27日(火) 17時30分より

場所：富士屋ホテル カスケードルーム

会費：18,000円

締め切り：2月20日

連絡事項 なし

スマイルBOX

望月博文君

2月8日~11日、フィリピンセブ島に研修旅行に行ってきた。日本との温度差が30度もあります。



会長挨拶



卓話 神谷一博会員



例会風景

出席報告	ゲスト 4名	ビジター 0名	会員24名
	欠席3(免除者1名)		前回の修正出席率95.65%
	出席率86.96%		前々回の修正出席率95.83%

事前メイクアップ 2名

神谷一博君

「インド全国一斉ポリオワクチン投与日HID」

に参加して。2018年1月27日土曜日から31日水曜日まで5日間インドに行っていました。今日はその報告と感想を發表するいい機会に恵まれました。ロータリー活動の最前線と言いますか、今一番の話題の「エンド・ポリオ・ナウ」活動に触れる事が出来ました事は本当に幸せな事と思います。また準備をして頂きました、関係者の方々に感謝します。

相澤光春団長始め同行した2780地区のロータリアンの方々、ROTEXの吉富真由さん全員病気にもならず、無事に皆で帰国できた事をここに報告出来る事が何よりだと思えます。

インドについてですが、どうでしょう何を思い浮かべますか？貧困、カースト制度、ヒンドゥー教、ガンジー、親日国、カレー、IT、お釈迦様、タタ自動車、識字率58%、平均寿命68才、現在13億人とも14億人とも言われています。日本の10倍ですね。お子さんの数ですがワクチンの投与対象者の5歳以下のお子さんは、1億7500万人だそうです。日本の人口は1億2600万人

(2018年1月暫定値) だそうです、ワクチン投与対象者が膨大な数と言う事がお解りになるでしょうか。

1994年(24年前)にインド政府、ユニセフ、WHO、CDCアメリカ保険局、ロータリークラブで最初の話し合いがもたれたとの事でした。初期には、ムスリム(イスラム)の人たちと問題があったようです、ポリオのワクチンが口に入ると外国人になってしまうという噂との戦いもあったそうです。

今回のHIDは全国7万か所で250万人のボランティアが参加していると聞いています。あまりに桁が大きいので数に鈍感になりそうです。

ちなみにインドは38地区3,500クラブ15万人のロータリーの会員がいるそうです。この24年間で50万人のポリオ発症者を救えたと言っていました。ポリオに感染したお子さんの0.1%~2%の人が麻痺を生じ一生残ります。ポリオには治療方法はなく、予防のみが可能だそうです。ポリオには有効なワクチンが開発されており、ワクチンにより獲得された免疫は一生続くと考えられています、との事です。我々2780地区から参加した13人のHIDメンバーが投与したお子さんたちの数、何百人かは生涯ポリオの恐怖から解放されるのではないのでしょうか。

1988年(30年前)には全世界で年間30万人のお子さんがポリオを発症していたと推定されています。日本では1960年(58年前)に北海道を中心に5,000人以上の患者が発生する大流行となりました、翌1961年一斉に1,300万人分の経口生ワクチンを緊急輸入し、これによって急速に流行を終息させる事に成功しましたこれが世界最初のNID(全国免疫接種日)となったようです。

その後1980年(38年前)に1型ポリオの症例を最後に、野生型ポリオウィルスによるポリオ麻痺症例は見られていないと言うことです。「出典；益田R/Cポリオの撲滅について、国立感染症情報センターHP」より。

今回の貴重な体験をさせて頂きました事、本当にありがとうございました。

以上

インド全国一斉 ポリオワクチン投与日(HID)
National Immunization Day
2018年1/27(土)~31(水)



相澤団長を囲んで



ワクチン投与開始



午前中のポリオ投与を終えて皆さま充実感にあふれています。



お母さんとお子さんとはアイコンタクトで会話



ふじさわ湘南 藤井尚孝会長から車輛の贈呈を受ける
インドポリオセンター長のDr.Lokesh Guptaデリー南西R/C会長